

スクエアダンス 十則 その①

楽しく踊るために

スクエアダンスの基本ルールをご紹介します。“思いやり”と“礼儀”を基本とした以下のルールは、すべてのスクエアダンサーに知ってもらいたい最も大切なルールです。ルールとは言っても、楽しさを制限するものではありません。最高の満足が得られる道に皆さんをご案内するための、案内標識だとお考え下さい。これらはいずれも過去の経験から得られたもので、アメリカン・スクエアダンスの楽しさを永続させるための最も基本的なルールです。

スクエアダンス十則

10の基本ルール(Ground Rules)

1. コールをよく聞く

スクエアダンスのコーラーは、フットボールのクォーターバックに相当します。コーラーは、皆さんに踊ってほしい動作をコールという信号で伝えてきます。

皆さんは、およそ2呼間遅れてその動作を行うのですが、踊っている間はおしゃべりをしたり考えごとをしたりしてはいけません。正しく動くことを考えましょう。踊りながらおしゃべりをすると、自分が迷ってしまうだけでなく、他の人までがコールを聞きそなったり、音楽のリズムと合わなくなったりします。



踊っているとき皆さんに指示を出せるのは、いつでもコーラーただ1人だけということを忘れないで下さい。他の人の動きを助ける一番良い方法は、自分がコールどおりに正しく動くことなのです。

2. セットを早く作る

コーラーが次のチップを“さあ始めましょう”と言ったら、カップルの足りない一番近いセットに入りましょう。スクエアセットを捜したいときは、フロアを歩きながら手を上げてコーラーに知らせます。また自分のいるセットが1カップル足りないときは指を1本、2カップル足りない時は指を2本、というふうに手を上げて足りないカップル数を知らせましょう。



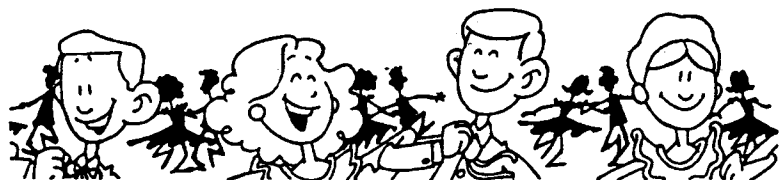
3. 礼儀をわきまえる

模範的な正しい礼儀を心得ておく必要があります。

“お願いします”と、ていねいにパートナーを誘いましょう。チップが終わったらセットの人たちに“ありがとうございました”と言いましょ。これらは、いずれも礼儀正しい自然な行動です。

スクエアダンスでは、この他に特に注意すべきことがあります。自分の近くのカップルの足りないセットをわざわざ通りこして別のセットに入らないこと。これはマナー違反です。また、いったんセットを作ったら、そのチップが終るまではセットから抜けないこと。これは大事なことです。どうしてもセットを離れる必要があるときは、替わりの人を見つけてからにしましょう。





スクエアダンス 十則 その②

4. 時間を守る

他の社会においては、遅刻をするのが普通という場合があるかもしれませんが。しかしスクエアダンスにおいては、1人が遅れたために7人が待たされるということがあるのです。



例会のプログラムを計画する場合、コーラーは最初と最後のチップを軸にして、その日のダンスのペースを決めるのです。遅れたり、早く帰ったりしたのでは、コーラーが準備してきたプログラムをフルに楽しむことができなくなってしまいます。

5. 相手を思いやる



お互いが近い距離で激しい運動をするときには、個人の清潔さが重要です。デオドラントをつけたり、歯を磨いたりというのは、そのような点でスクエアダンサーに

とって大切なことなのです。

スクエアの他の人たちが楽しめるかどうかは、皆さんの協力しだいです。ダンスの前やダンス中に、お酒を飲んではいけません。

真のダンサーと言われるために最善の配慮を！

6. 互いに協力する

スクエアダンスでは、各ダンサーには“他の人たちを楽しませる”責任があるのです。

スクエアセットは、独自に動き回る8人の個人で構成されているわけではありません。それ自体が1つのユニットなのです。そこにはスター的存在の個人はいません。

本当の楽しさは、スクエアがスムーズに動くように各ダンサーが自分の役割を果たすことによって生まれてくるのです。

7. 無理をしない

無理をしないで気楽に踊りましょう。

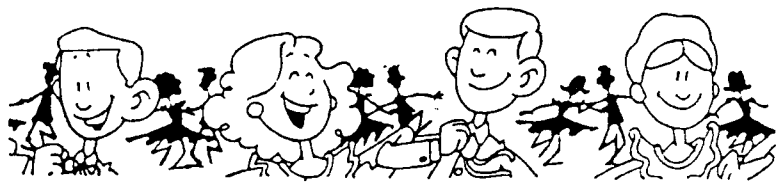
スクエアダンスは激しい運動です。始めたばかりの頃は特に疲れます。疲れたら腰を掛けましょう。疲れてしまっても一息つきたいというときは、ダンスに誘われても断わってかまいません。休んでいる間に見たり聞いたりするだけでも、とても多くのことを学べます。

8. 友情を大切にする



友情は、スクエアダンスで得られる最高の報酬です。スクエアダンスの主人公はあなたです。いえ、本当はみんながそうなのです。スクエアの他の人たちと友だちになれる機会を作り、できるだけ多くの異なったダンサーと踊ることをいつも忘れずに。

次のような名言があります。“友情を音楽に振り付けたもの —それがスクエアダンスです”。



スクエアダンス 十則 その③(完)

9. 常に学ぶ

皆さんが知っておくべきこと、あるいはダンスのある部分を上達させることのできる何か新しいことというのは常にあります。



ダンスで間違いをするのはごく当たり前のことです。ここで大事なのは、間違えたときには何がいけなかったのかを考えてそれを頭に入れておくことです。そして、次に同じ動作がコールされるときには2度と間違えないことなのです。何か分からないことがあったら、機会をみてどんどんコーラーに質問をしましょう。もしかしたら質問をするのはあなただけかも知れません。でも、あなたの質問は、はずかしくて手をあげられない他の人たちにとても役に立っているのです。

10. 楽しさを大切に



楽しさは伝わりやすいものです。あなたのほほえみがどんなにスクエアの他の人たちを元気づけることでしょう。あなたは楽しい時間を期待してスクエアダンスに出かけ、そして期待どおりの時間を過ごすことでしょう。

もしあなたが、大きな歓声をあげて楽しさを表現しようとするならば、他の人がコールを聞きとれずにセットがこわれてしまうことのないような、そういう時を見計らって歓声をあげるべきです。各チップの間では、少し熱気をさますようにしましょう。

楽しく踊ったチップの終わりで拍手をしますね。これはコーラーを称え、セットの人たちに感謝の気持を伝えるためです。しかしこの拍手は、同時に自分自身をも称えているのです。それは、一つの事をなし終えたのはあなたであり、またスクエアダンサーだからこそ経験できるあの踊り終わった後のすばらしい感じを味わえたのもあなただからです。

クラブを大切に!

● 自分のクラブはダンスのふるさと

スクエアダンス・クラブは、スクエアダンスの活動の中心となる場です。大きなクラブ、小さなクラブ、誰でも踊りに行けるクラブ、会場の大きさに見合った会員制のクラブ。スクエアダンス・クラブとは、友情という精神と、快適なダンスという理想が具体的な形となって現われる場所なのです。ビギナークラスのメンバーが、やがてはクラブのメンバーになります。そこでは単にダンスを楽しむだけでなく、一緒にいるのが楽しい仲間も見つかります。

ところでダンサーは、別の観点でクラブから役割を与えられます。ほとんどのメンバーが何かしらの簡単な責任を受け持っている、そういうグループが一番うまくクラブを運営できるのです。入口で出迎える係や、スナックを考えて準備する係などがそうです。

